



自作セット パーツの犬モデル AM-001 詳細マニュアル



このマニュアルでは、パーツの犬モデル AM-001 (AMD モデル) で使用するマザーボード上のコネクタや、組み立て時の注意点を解説します。

パソコンの基本的な製作方法や、OS インストールの方法は、「自作パソコン 組立マニュアル」をご覧ください。

http://www.dospara.co.jp/5info/img/lp_jisaku/jisaku_manual_150326.pdf

マザーボード (FM2A88X Extreme4+) の各コネクタ

※マザーボード付属の SATA ケーブルは 4 本です。

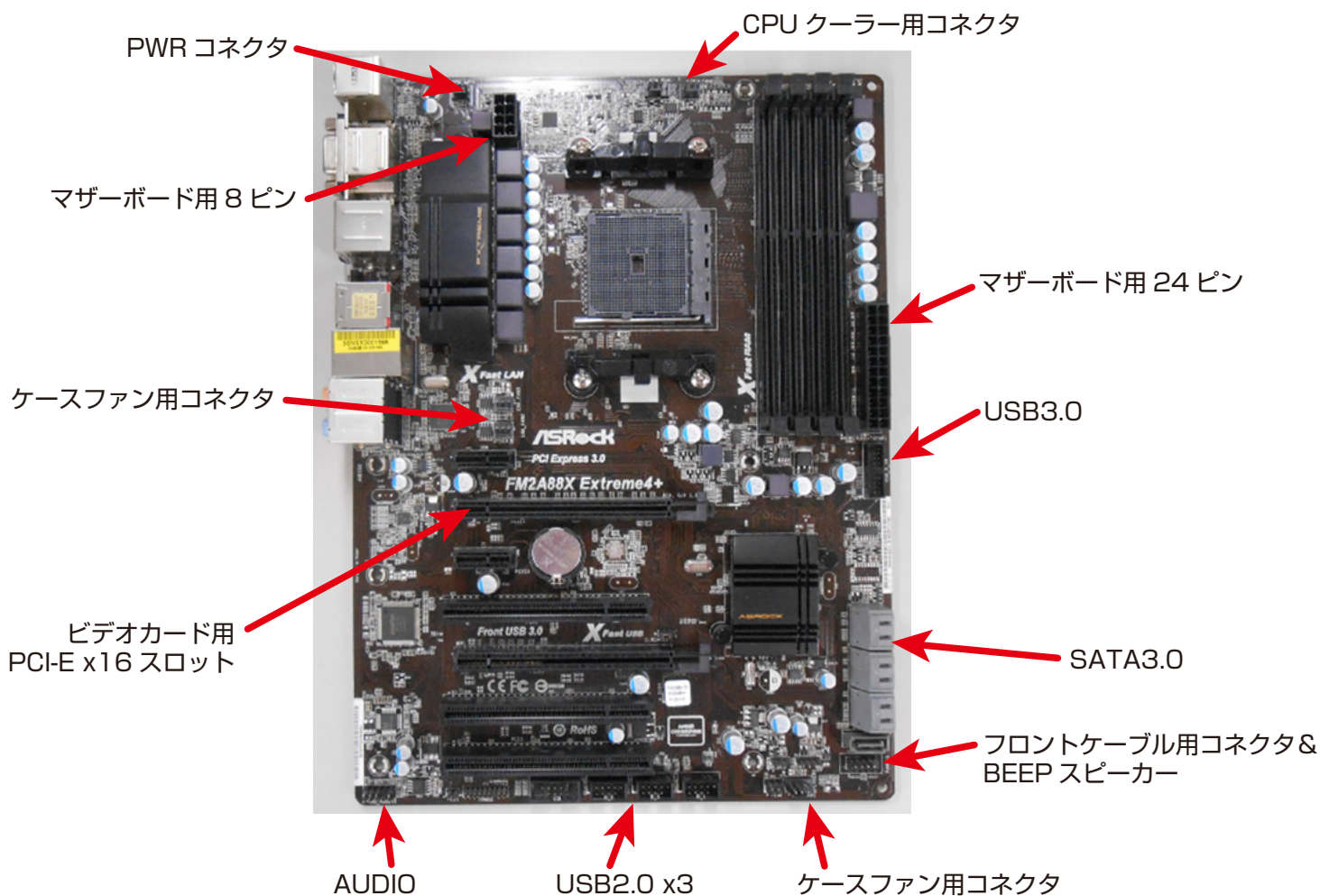
※マザーボードの取り付けはミリネジを使用します。

※PWR ファン用コネクタはファン管理ケーブルが付属する電源向けですが、ケースファンも使用可能です。

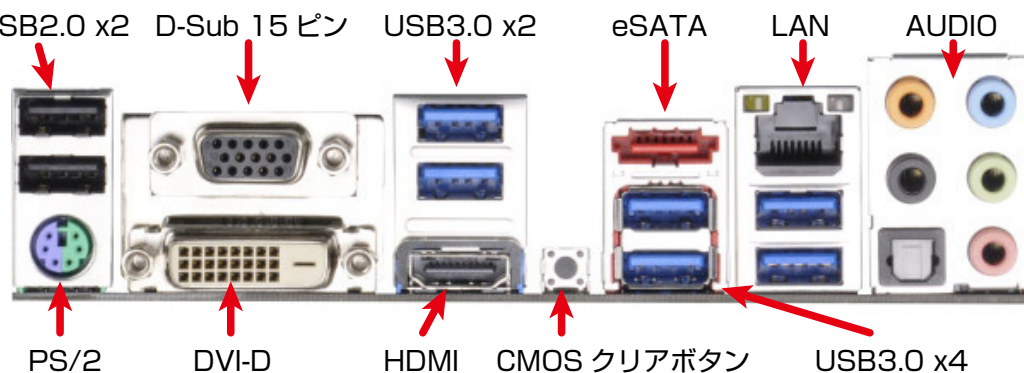
※CPU クーラー用コネクタは、4 ピン・3 ピンの 2 種類があります。使用クーラーのピン数に合う側に取り付けてください。

※メモリが 2 枚の時は、CPU 側から数えて 1・3 番目のスロットに取り付けてください。

※標準ケース「Fulmo Q」の拡張スロット数は 6 です。7 段目 (再下段) のスロットは通気用となりますので使用できません。



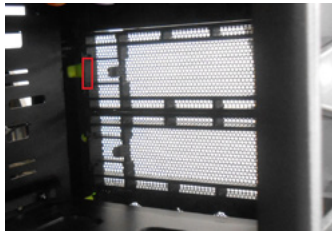
マザーボード / 背面の出力端子



※CMOS クリアボタンを押すと UEFI (BIOS) 設定が初期化されますのでご注意ください。

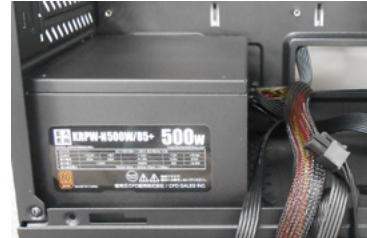
組み立て時の注意点

1.5 インチベイベゼルの外し方



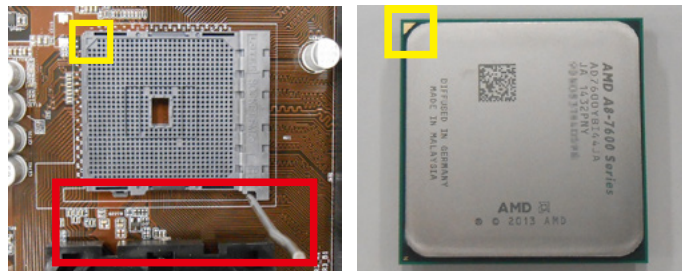
ケース内側から赤枠部分を少し引きながら、ベゼルを前に押し出して下さい。

2. 電源の向きについて



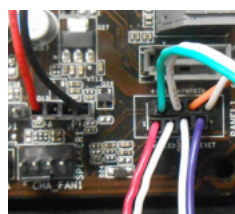
電源はファンを下向きに設置します。

3. CPU の取付方法



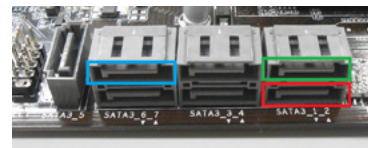
赤枠のバーを立てた後に、黄枠部分を合わせる様にCPUを上から置き、ピンがしっかり刺さった事を確認の上、バーを戻して下さい。

4. 前面パネル用ケーブル&スピーカー接続



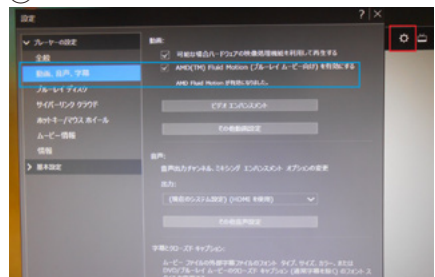
ケーブルの色に注意して取付けてください。POWER SW と RESET SW は左右逆でも問題ありません。


5. SATA3.0 ケーブルの接続順




起動用のHDD/SSDはSATA3_1(赤枠)、光学ドライブはSATA3_7(青枠)に接続します。別途HDD/SSDを追加した場合は、SATA3_2(緑枠)に接続します。

6. Fluid Motion の設定方法 (アニメモデル)

- 

① PowerDVD でアニメ BD を再生中に赤枠の設定アイコンからメニューを開き、「動画、音声、字幕」の「AMD Fluid Motion (ブルーレイムービー向け) を有効にする」にチェックを入れて、「有効になりました」と表示されれば設定完了です。
- 

② Fluid Motion が有効にならない場合、緑枠の設定アイコンから「TrueTheater」をオンにして、①を再実行して下さい。
- 

③ 「AMD Catalyst Control Center」の「ビデオ」→「品質」で設定可能な分割スクリーンモードをONにすると、動画の右半分だけを Fluid Motion 対応にして、効果を比較できます。

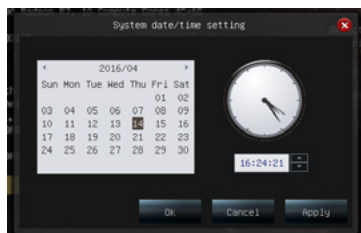
自作セット パーツの犬モデル AM-001 詳細マニュアル



UEFI の基本設定

UEFI 画面に入るには、PC 起動時に DEL を何度か押し続けてください。
この設定は、Windows 8.1/10 64bit 向けですので、Windows 7 や、8.1/10 32bit の場合、CSM・FastBoot・SecureBoot 設定は不要です。

1. 時刻設定



初期設定時は時刻が日本時間ではありません。
画面右下の時計部分をクリックして修正してください。

2.CSM・Fast Boot 設定



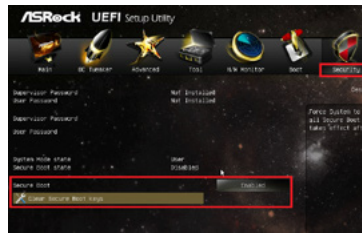
「Boot」タブでは、「CSM」を「Disable」に、「Fast Boot」を「Fast」 or 「Ultra Fast」にすると、OS の起動が高速になります。「UltraFast」は高速すぎるため、再度 UEFI に入ろうとして起動時に DEL を押しても間に合わなくなりますのでご注意ください。

3.Boot 順番設定



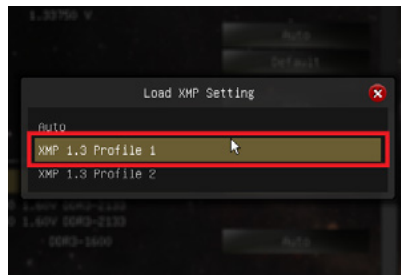
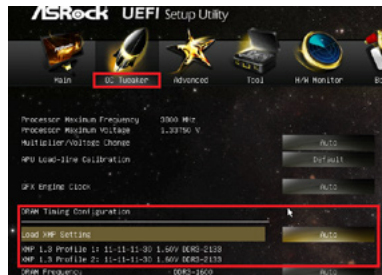
「Boot Option Priorities」では、OS のディスクを入れている DVD ドライブ (UEFI : 光学ドライブ) を #1 にすると、PC 再起動時に OS 用ディスクをすぐ読み込みます。
ただし、起動時に F11 キーを押すと起動ドライブを指定でき、OS インストール後には #1 が「Windows Boot Manager」に変わってしまいますので、変更しなくても問題はありません。

4. Secure Boot 設定



「Security」タブの「Secure Boot」を「Enable」にすると、下に Key 状態が表示されます。「Clear Secure Boot Keys」になるようにしてください。

5. メモリ設定



「OC Tweaker」タブの「Load XMP Setting」を、「Auto」から「XMP 1.3 Profile 1」に変更すると、PC 性能 (特に 3D グラフィック性能) が向上します。

6. 設定保存と再起動



その他設定はデフォルトのまま問題ありません。
最後に「Exit」タブの「Save Changes and Exit」で「Yes」をクリックすれば、設定を保存して再起動します。

■お困りの際はこちらまで

パソコンの故障修理・診断・増設はおまかせ
困ったときのドスパラサポート
<http://pc119.dospara.co.jp/>



■ご購入・お問合せはこちら

ドスパラ通販サイト
<http://www.dospara.co.jp/>

